

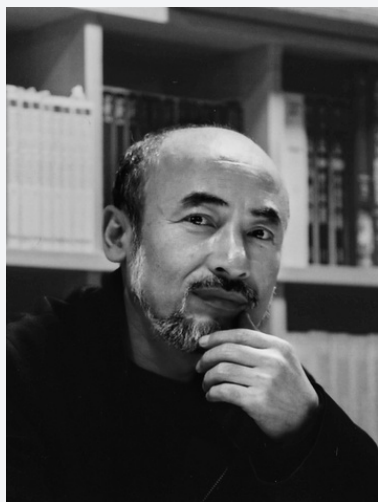
# 募集要項

## 01 YJ COMPEとは

「YJ COMPE」は、2026年、注文住宅を手掛けるヤマト住建が創設した**木造住宅の設計コンペティション**です。建築ジャーナリスト・中谷正人氏をコーディネーターに迎え、これからの木造住宅のあり方を考え、新たな住宅の可能性を広く発信することを目的として開催します。今回はあなたの全力を、**建築家・竹原義二**が真っ向から評価します。あなたの設計思想は、竹原義二に届くか。日常の業務では出せない「本気」を、ここに。応募は建築を学んでいる学生から現役で設計業務に従事している方までOK！一次審査から建築家が全作品に目を通して審査します。勝ち抜いた方はプレゼンテーションを行い、最優秀作品を決定します。実際のモデルハウス用地で、「描きたい設計」を「建てる設計」に。最優秀賞受賞者には**実施設計**の権利をプレゼント！

## 02 開催趣旨

住宅を取り巻く環境は、いま大きく変化しています。人口構造や家族のあり方、暮らし方が変わり、環境への配慮や省エネルギー、災害への備えなど、住宅に求められる役割も多様化しています。一方で、住宅の性能や合理性が重視されるほど、住む人の感性や、その人らしい暮らしをかたちにする「設計」の力が、これまで以上に問われています。これからの木造住宅に必要なのは、性能が高く、機能性にすぐれているのは当然として、技術とデザイン、合理性と豊かさ、社会性と個人の暮らし。その一見相反する価値をどのように結びつけ、新しい住まいとして提案できるか。その問いに向き合うことが、これからの住宅設計には求められていると我々は考えます。だからこそ「YJ COMPE」では、既成概念にとらわれない自由な発想と、木造住宅だからこそ実現できる空間の可能性を求めます。実務の中で培った経験を生かすことはもちろん、まだ実現されていないアイデアや、これまでの住宅にはなかった価値にも挑戦してほしいと考えています。本コンペが、設計者一人ひとりの「こんな家をつくりたい」という想いをかたちにする場となり、参加者同士が新たな視点や価値観に出会う場となること。そして、そこから生まれた提案が、これからの木造住宅と暮らしを考えるきっかけとなることを願っています。「描きたい家を、描けていますか。」YJ COMPEは、設計することの原点に立ち返り、木造住宅のこれからをともに考えるコンペティションです。



竹原 義二 建築家

建つ場所は決まった。住み人は、なぜ今ここに家をつくりここで生きていこうとしているのかを考える。場所がもつ特性が住み心地に大きく関わり、住むと決めた敷地がもつ固有の条件を生かすことで、そこでの最大限の心地よい住まいづくりが始まる。人は均質な空間の中では、心地よく生きていくことができない。地形を読み解き、光と影のうつろい、素材のもつ重みや荒々しさに自身の身体をぶつけ、その場所と暮らしにしか生まれない「家」のあり方を提案してほしい。今、積極的に「家とは何か」を考えだす。審査員がうなるような「生きる喜び」を提案してください。

### 主な受賞歴

1984年：大阪建築コンクール渡辺節賞

1996年：第9回村野藤吾賞

2009年：芦原義信賞

2010年：日本建築学会教育賞

### おもな作品

西明石の家（1983年）

101番目の家（2002年）

はじまりの美術館（2014年）



審査員  
藤川 光洋

藤川建築研究所  
建築家



審査員  
河本 佳樹

ヤマト住建  
代表取締役社長

## 04 コーディネーター



中谷 正人

中谷ネットワークス  
建築ジャーナリスト

これからの暮らしを創造する建築とは。敷地を読み、暮らしの未来を描く。4人家族が当たり前だった時代は終わり、今や3人家族が主流になっている。様々な時代変化の中で、家族の関係がどうあるべきなのか、家族団らんとはどういうことなのか、改めて問い直さなければならない。今後のヤマト住建のフラッグシップになる家を求めます。

## 05 主催者メッセージ

---

既成概念や日々の制約に捉われない、あなたの描きたい「これからの住宅」。幾度も推敲を重ね、温めてきた、理想のスケッチ。日々の実務の中で、いつしか「描くこと」そのものが目的になってはいないか。「現実の空間」として立ち上がってこそ、建築の価値は発揮される。だからこそ、このコンペでは、既成概念や日々の制約にとらわれることなく、あなたが本当に描きたい、あなたの思い描く「これからの住宅」を提案してください。高性能であることを前提としながら、人の暮らしと周辺環境に寄り添う、穏やかで豊かな「これからの住宅」を。本コンペにはもう一つ、大きな特徴があります。あなたが描いたアイデアを、図面やスケッチだけで終わらせません。あなたの情熱と発想を核に、ヤマト住建の持つ住宅性能や技術力、施工力を掛け合わせ、実際の建物-モデルハウスとして形にすることを目指します。あなたが描きたかった住宅を、ヤマト住建とともに、現実の建築として実現してください。「描きたい家」を、「建てる家」へ。あなたの自由な発想と情熱を、私たちは本気でバックアップします。本コンペでは、既成概念や日々のしがらみにとらわれることなく、あなたが本当に描きたい「これからの住宅」を提案してください。

## 06 課題テーマ

---

「今、家とは何かを問う」  
ー変わり続ける「未完」の居場所ー

※設計条件、提出物詳細は、エントリー後にお送りします。

## 07 応募資格

---

以下のいずれかに該当する方

- ・住宅設計実務経験者
- ・建築系学生および卒業生
- ・オンラインプレゼン、神戸(三ノ宮周辺)会場の表彰式に出席できる方

※資格不要

※応募費用無料

## 08 応募方法

---

### ――STEP1

#### 〈エントリー〉

当ホームページの「エントリーボタン」から受付を行ってください。

これまでに手掛けた、または自身を表す建築・空間等の写真2枚と、それに対するひと言を登録いただきます。

※写真がない場合は模型やパース写真でのエントリーも可。

※簡易エントリーのため、この段階で設計図書を提出する必要はありません。

※期間中にエントリーを済ませた方のみ、作品提出が可能となります。

**受付期間：2026年9月16日(水) ～ 2026年11月30日(月)**

### ――STEP2

#### 〈登録番号通知〉

登録を受付次第、事務局より登録番号をメールでお送りします。

※1週間以内に連絡がない場合は、お手数ですが事務局にお問い合わせください。

### ――STEP3

#### 〈作品提出〉

作品図書の提出は、専用フォームからアップロードしていただきます。

具体的な設計条件や対象敷地、提出物、提出手順は、登録メールでお知らせします。

**締め切り：2027年1月10日(日) 23:59必着**

## 09 審査プロセス

### ――STEP1

〈1次審査〉

1次審査にて、2次審査に進む作品を選定します。

結果発表：2027年2月下旬

※事務局より登録アドレス宛にメールをお送りします

### ――STEP2

〈2次審査（3月中旬）〉※オンライン開催

2次審査では、応募者がプレゼンテーションを行います。

審査員による質疑応答を経て、受賞作品を決定します。

### ――STEP3

〈表彰式（3月下旬）〉※神戸で対面開催（条件付きで交通費・宿泊費支給）

受賞作品の応募者を表彰します。

結果発表もこの場にて行います。

## 010 賞金・権利

特選 1名                      100万円    +    次期モデルハウスの実施設計権

優秀 1名                      35万円

次点 若干名                      5万円

入賞者には記念品として  
「竹原 義二サイン本」をプレゼント！

※実施設計権に関しては、最優秀者以外の方にもお声がけさせていただく場合がございます。詳細は別途ご案内します。

### よくある質問

Q1.

エントリー後にIDの入った自動返信メールが届きません。

A.

お手数ですが、お問い合わせフォームよりご連絡をお願いします。お問い合わせの返答には1週間ほどお時間をいただく場合がございます。

Q2.

グループでのエントリーも可能でしょうか？

A.

本コンペティションは、個人での受付のみとなります。グループでのエントリーはご遠慮ください。

Q3.

建築士の資格を持っていませんが、エントリーは可能でしょうか。

A.

可能です。ただし、学生および設計の実務経験がある方に限定されます。設計の実務経験がある社会人学生の場合はエントリー可能です。

Q4.

他のコンペで使用した作品で応募してもよいでしょうか。

A.

本コンペでは、未発表のオリジナル作品のみを対象とさせていただいております。

Q5.

作品制作にAIツールは使用できますか？

A.

補助目的での使用は許可します。ただし、AIが生成した作品をそのまま提出することは禁止です。著作権・利用許諾に問題のない範囲で使用してください。権利侵害が判明した場合、責任は応募者が負うものとします。

Q6.

提出済みの作品を変更することは可能でしょうか。

A.

作品提出締め切り（2027年1月10日（日）23:59）までは可能です。フォームへ再度入力いただき、提出下さい。

よくある質問

Q7.

審査結果はどのように案内されますか？

A.

2027年2月下旬（予定）にメールでご案内します。

Q8.

最終審査は現地での参加は可能でしょうか？

A.

2次審査（プレゼンテーション）はオンラインにてご実施いただきます。なお、神戸で開催される表彰式につきましては、交通費・宿泊費を補助（手配）します。詳細は「012 権利・注意事項」をご参照ください。

Q9.

電話での問い合わせは可能でしょうか。

A.

お問い合わせは、メール（y-compe@yamatojk.co.jp）からのみの受付となります。必要事項をご入力の上、お問い合わせください。敷地調査報告書以外の内容に関しては適宜設定可能とし、お問い合わせいただいても回答致しかねます。

Q10.

エントリー後にキャンセルはできますか？

A.

エントリー後、作品提出締め切り（2027年1月10日（日）23:59）までに作品の提出がない場合は、自動的に審査対象外となります。

Q11.

賞金の100万円はそのまま全額受け取れますか？

A.

賞金から源泉徴収税額など税金を差し引いた金額となります。

Q12.

1人で複数応募は可能でしょうか？

A.

複数応募は不可となります。1人1点までの応募をお願いいたします。

### 1. 権利の帰属および利用

#### ・応募作品の著作権

応募作品の著作権（著作権法第27条および第28条に規定する権利を含む）は、原則として応募者に帰属します。

#### ・主催者の利用権

主催者は、本コンペの審査、結果発表、広報活動、展示、刊行物への掲載およびWebサイト・SNS等での発信を目的として、応募作品の画像を無償で優先的に使用（複製、展示、公衆送信等）できるものとします。

#### ・未発表作品の制限

本エントリー作品は、自作であり、かつ国内外で未発表のオリジナル作品に限ります。

#### ・権利侵害の禁止

応募作品が、第三者の著作権、意匠権、商標権、パブリシティ権その他の権利を侵害していないことを保証してください。写真・イラスト・フォント等の素材を使用する場合は、事前に適切な権利処理を行った上で応募してください。

#### ・トラブル発生時の責任

第三者から権利侵害等の主張や差止め、損害賠償請求を受けた場合、応募者自身の責任と費用負担においてこれを解決するものとし、主催者および審査員は一切の責任を負いません。

#### ・返却について

提出された応募書類は原則として返却いたしません。必要な場合は、応募者自身で事前に対処（バックアップ・記録撮影等）を行ってください。

### 2. プライバシーポリシー

#### ・個人情報の利用目的

応募にあたりご提供いただいた個人情報（氏名、生年月日、連絡先、経歴・ポートフォリオ等）は、本コンペの運営・審査・結果発表のほか、主催企業における採用活動、ならびに将来的な業務提携・外部パートナー選定に向けたご連絡・ご案内のために利用いたします。

#### ・第三者提供および管理

法令に基づく場合を除き、事前の同意を得ずに上記目的以外の目的で第三者へ開示・提供することはありません。また、取得した個人情報は適切かつ安全に管理いたします。

### 3. 失格事項

以下のいずれかに該当した場合、審査対象外（失格）とし、受賞後であっても受賞を取り消す場合があります。

- ・ 指定の提出期日、提出方法、様式または記載条件を守らなかった場合
- ・ 審査の公平性を損なう行為（審査員へ直接接​​触・売込みを行うなど）が発覚した場合
- ・ 他者の作品の模倣、盗用、または著しい類似が認められた場合
- ・ 本募集要項の定め​​に違反した場合

### 4. その他

- ・ 応募費用の負担

本コンペの応募に要する一切の費用（制作費、通信費等）は、すべて応募者の負担とします。

- ・ 宿泊費および交通費の支給

表彰式参加者には以下の費用が支給されます。

〈特選の方〉交通費満額（領収書と引き換え）＋宿泊先手配

〈優秀の方〉交通費満額（領収書と引き換え）＋宿泊先手配

〈次点の方〉交通費上限1万円（領収書と引き換え）＋宿泊先手配

※詳細な手​​続方法や受付手​​順につきましては、1次審査通過者様へ個別にご案内いたします。

- ・ コンペの中止・変更

天災地変その他不測の事態が発生した場合、主催者の判断により本コンペの中止、または内容・スケジュールの変更を行う場合があります。この場合、主催者は応募費用等の補償を行いません。